

令和6年度 第2回
石岡市複合文化施設整備審議会

会議資料

令和6年7月8日(月)

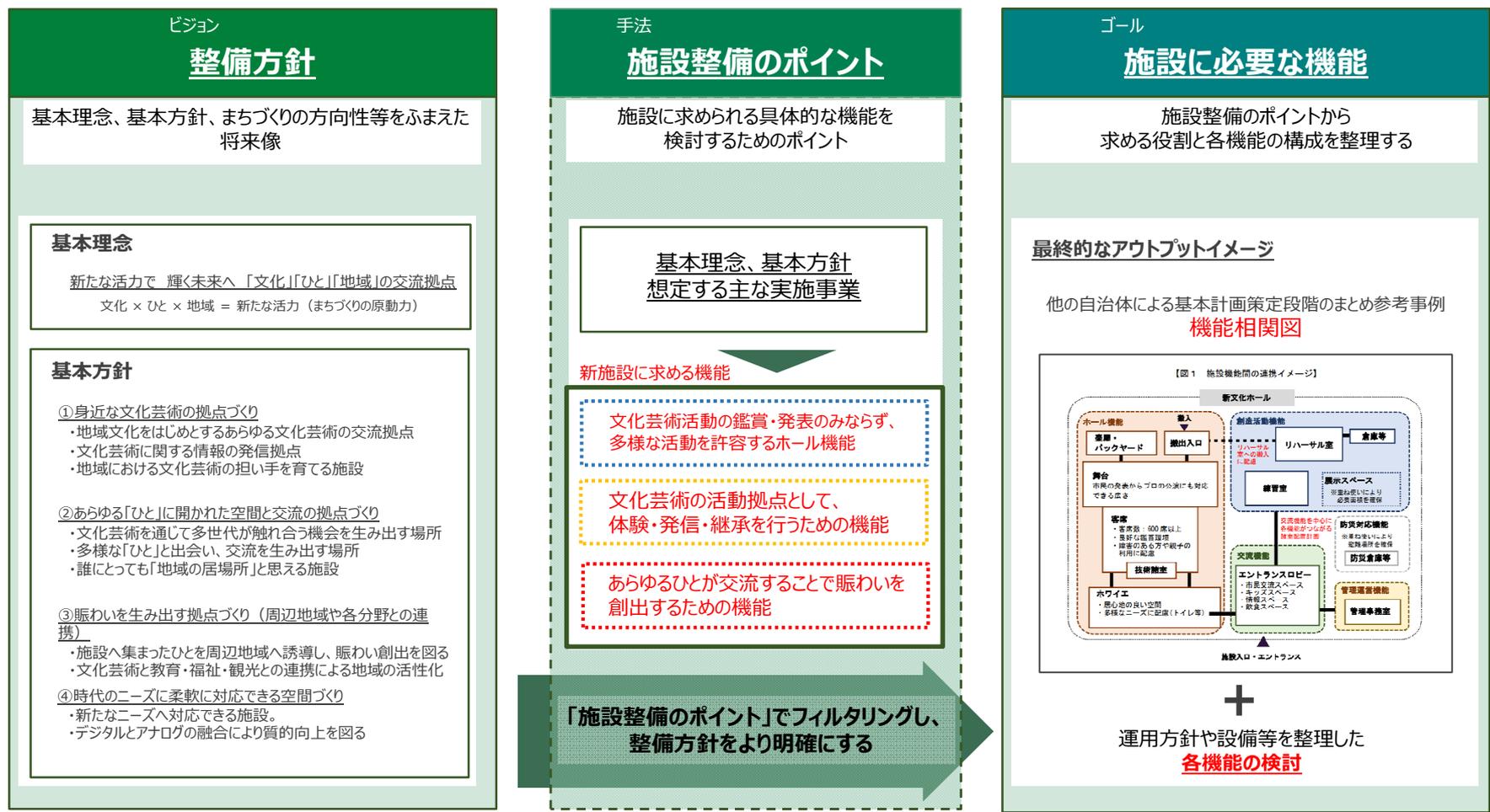
施設計画について

施設計画の検討フロー

検討フロー と アウトプットイメージ

基本理念を実現するために施設に求められる「機能」を具体化するためには、「基本理念」と「施設に実装する機能」の結び付きが重要となります。そのため、「基本理念、基本方針、市の今後のまちづくりの方向性等」（＝整備方針）を達成するために、新施設に求める機能を施設整備のポイントとし、整備方針の実現のため、「必要（実装）かつ相互に作用する機能性」について説明する相関図を作成します。

■ 検討のフロー



施設計画における機能相関図について

基本構想における基本方針

- ①身近な文化芸術の拠点づくり
- ②あらゆる「ひと」に開かれた空間と交流の拠点づくり
- ③賑わいを生み出す拠点づくり(周辺施設や各分野との連携)
- ④時代のニーズに柔軟に対応できる空間づくり

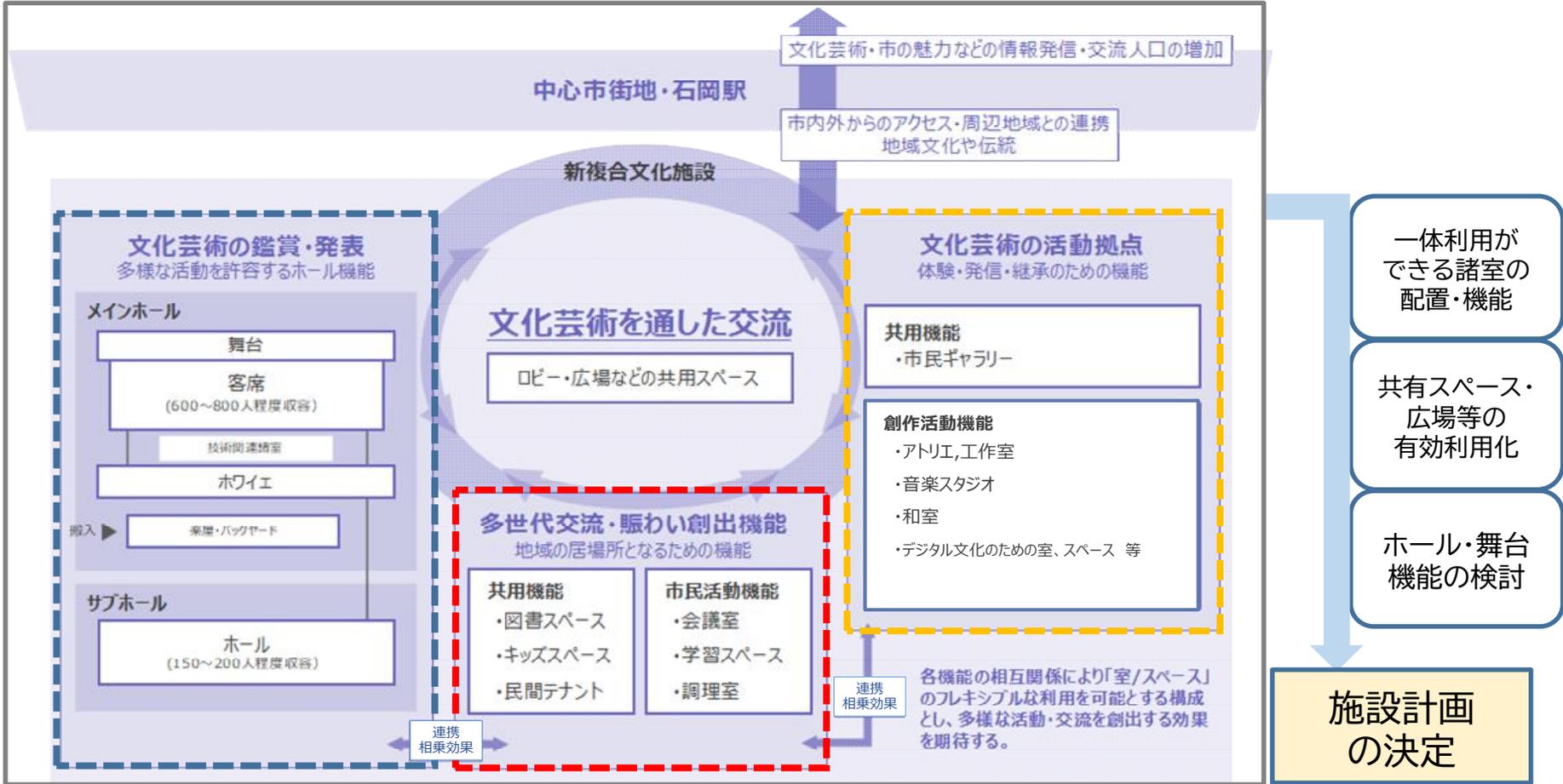


新施設に
求める
3つの機能

鑑賞・発表のみならず
多様な活動活動を許容する
ホール機能

文化芸術の活動拠点として
体験・発信・継承を行うための
機能

あらゆるひとが交流すること
で賑わいを創出するための
機能



機能相関図のイメージ

施設計画における整備コンセプトイメージ(案)

施設整備のコンセプトから必要となる機能を考える



基本方針

- ①身近な文化芸術の拠点づくり
- ②あらゆる「ひと」に開かれた空間と交流の拠点づくり
- ③賑わいを生み出す拠点づくり(周辺地域や各分野との連携)
- ④時代のニーズに柔軟に対応できる空間づくり

多様な活動活動を許容するホール機能

音楽・文化芸術の鑑賞

- クラシックやポップスなど様々なジャンルの音楽公演、音楽関連以外の演劇や伝統芸能、ミュージカル等の鑑賞する。

講演会や式典・学校活動の実施

- 講演会や記念式典への参加。

文化芸術・教育・創造活動の発表

- 部活動の学生による活動や、市民活動の発表会。

ジャンルを超えた文化芸術のコラボレート

- 鑑賞体験を行った市民間の交流
- 交流を通して文化芸術活動が干渉しあう。

体験・発信・継承を行うための機能

部活動としての文化芸術・創造活動

- 近隣地域の学生が練習、創造、発表をする。

地域活動としての文化芸術・創造活動

- プロ、学生、地域の人など様々なひとが活動・交流し、相互に学び、発表の機会を得る。

デジタル関連活動

- eスポーツなど地元の学生の活動の場、また地域の人々にeスポーツやデジタルに触れる機会を提供する。

関連活動の拡散やコラボレート

- 分野を超えて関連活動を行った市民間が交流する。
- 交流を通して関連活動が干渉しあう。
- 活動への理解関心が生まれ地域社会に拡散する。

賑わいを創出するための機能

子育て関連の交流・相談

- 子どもの遊び場や保護者間の交流する
- 子育て支援事業や相談の場を設けることで、関係人口が関わり合う

施設利用者が滞在する

- 交通結節点として学習や滞在時間を過ごす
- 催事の開催を目的として施設を訪れる
- 生活基盤、観光資源、情報収集を目的として施設を訪れる。

ホール機能

- 大ホール / 小ホール
- ホワイエ / バックヤード
- 楽屋 / 技術諸室
- ピアノ庫 / 備品庫 / 搬入口

創作活動機能

- 和室
- 音楽スタジオ
- アトリエ・工作室
- 調理室
- デジタルルーム・スペース
- 多目的ルーム
- 市民ギャラリー

交流機能

- キッズスペース
- 民間テナントスペース
- 学習・図書スペース
- 多目的なオープンスペース

その他 / 施設維持に必要な基本機能

- 施設運営事務室、会議室
- 設備関連諸室